

KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

2018~
2019年度
テーマ

国際ロータリー 「インスピレーションになろう」 R.I.会長 バリー・ラシン

地区方針 「ロータリーを信奉し、奉仕に行動しよう」

R.I. 2720 地区 ガバナー 高山泰四郎

熊本グリーンRC 「手をつなごう、手をのばそう」

熊本グリーンRC会長 本田悟士



インスピレーションになろう

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：本田悟士 ■幹事：福島和見 ■会報担当：栗山義則
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

【2019年6月10日】

第1346回

2018-2019年度 第38回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

ロータリーソング「奉仕の理想」

来訪者紹介 (本田 悟士 会長)

< 米山奨学生 >

・ ジャルマ・ゴパル 君

友情の握手

会長スピーチ (本田 悟士 会長)

みなさん、こんばんは。先週は5名もの多数の友人招待、新入会予定者をはじめ、ガバナー補佐、幹事らの来訪を受け、とても賑やかな例会となりましたね。

本日は、一転して非常に真面目な、次年度に向けての第2回クラブ協議会ですが、ただの親睦団体ではない、パフォーマンス指向の奉仕団体でもない、私たちロータリークラブの方向性、軸を定め、その達成のための活動等を協議する大切な場です。次年度の山下佳介会長の掲げられた目標、活動方針を実現するため、限られた期間のなかで、理事役員、各委員会のメンバーの皆様、つまるところ、このクラブ全員の参加、協力のもと家庭集会を重ね、本日の協議会に向けてご準備いただきました。感謝申し上げますとともに、活発な、充実した議論を期待しております。

さて、今年度の例会も残すところあと3回。

本日の次年度クラブ協議会もそうですし、5/20の例会の際に“リレー”についてお話しさせていただいたように、いよいよ次の期、次の会長に引き継ぐ、信じて託する時期になりました。

というわけで、本日は「信託」について。

信託とは、自分の大切な財産を、信頼できる人に託し、自分が決めた目的に沿って大切な人や自分のために運用・管理してもらう制度です。

信託は、資産運用の目的で使われることもあれば、資産管理の目的で使われることも、資産承継の目的で使われることもあり、ビジネスを目的として行うものを商事信託、ビジネスを目的とせずに行うものを民事信託といいます。この後者、民事信託のうち、特に親族・家族間で行われる信託契約を家族信託といったりします。

信託の利用場面としては、例えば、高齢となったAさん(委託者)が、自分の所有する賃貸物件をBさん(受託者)に託して、当該物件の収益をもって孫のCさん(受益者)の学費等経済面の面倒をみてもらうといった使われ方などが考えられます。

Aさん名義のままに置いて認知症の進行から後見人が選任されては、Aさんの希望はかなえられませんが、単に、Cさんのことを頼んだと口約束して、Bさんに不動産を贈与してしまうと、賃貸物件をBさんが勝手に処分されてしまったりしても、回復することができません。

しかし、信託契約によりこれを行うと、①委託者の意思を尊重でき、②受託者の財産から隔

卓話予定

- 6/17 会長・会長エレクト・副会長・幹事・S.A.A.、会計及び6常任委員長退任挨拶
- 6/24 「夫婦会」(歳祝い会を兼ねる)★18:30~(於:フランス料亭「七彩」)
- 7/1 会長・会長エレクト・副会長・幹事・S.A.A.会計就任挨拶★認証状の引継ぎ
- 7/8 6常任委員長就任挨拶
- 7/15 祝日(海の日)の為、例会取り止め

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

離することができ、③受益者の収益が確保でき、④受託者や受益者が死亡した後まで含めた設計ができるようになります。

不動産の有効活用、相続対策、後継者育成・事業承継対策、空き家対策等、様々な活用が期待できる制度ですが、自由度が高いということはそれだけ、その制度を利用する人の能力、力量が問われるものでもあります。ニーズや懸念を具体的に、正確につかみ取り共有できる信頼関係の醸成やこれに答える設計の能力、各クラブの自由度が上がったといわれるこれからのロータリー運営にも通じるところがあるかもしれません。

本日もよろしくお願ひ致します。

幹事報告 (福島和見 幹事)

■ 例会取止め・変更 <変更>

【熊本平成RC】

6月26日(水)の例会は、最終家族例会のため、同日18:30より「味の波止場」にて行います。サイン受付けは行いません。

<取止め>

次の例会は、定款第6条第1節に基づき、取止めます。

【熊本中央RC】 6月28日(金)

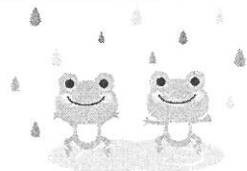
【熊本西南RC】 6月27日(木)

*サイン受付けは行いません。

出席報告

(長野 義文クラブ管理運営委員(出席担当長))

	会員総数	22名	出席率
6月11日	出席免除会員数	1名	76.19%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	16名	
5月27日	前回の出席会員数	11名	66.67%
	メイクアップ数	3名	
	修正出席会員数	14名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 5 / 28 熊本東RC 河島 君 ・ 5 / 23 熊本江南RC 仙波 君 ・ 6 / 8 熊本平成創立30周年式典 松村 君 			



委員会報告

①「ロータリーの友」5月と6月号の紹介
報告者：仙波洋八公共イメージ委員会

スマイル

(田中純司会員)

(クラブ管理運営委員(スマイル担当長))

●本田 悟士 君、福島 和見 君
「本日のクラブ協議会(次年度第2回)宜しくお願い致します。昨日の釣りで久しぶりに釣果が上がったので、嬉しくてスマイルします。釣りに絡めてコメントするわけではありませんが、先週の友人招待、多数の参加者の入会希望にも感謝してスマイルです。」

●河島 一夫 君

「今年度も、残り3回となりました。本田会長、あと1年も出来そうな観じにみえます。その若さにスマイル。」

●十時義七郎 君、栗山 義則 君、長野 義文 君、荒木 一之 君、田中 純司 君

「本日の次年度クラブ協議会、出席の皆様ご苦労様です。次年度会長、幹事はじめ委員会の方にはよろしくお願ひ致します。」

3. 例会プログラム

新年度第2回クラブ協議会



4. 閉会・点鐘

* 例会終了後、定例理事会開催



理事会開催報告 — 2020 学年度は 860 人採用 —

6月12日、全国から理事29人、監事3人および小沢一彦名誉理事長が出席し、第22回理事会が開催されました。

齋藤直美理事長の進行の下、主な議案として、2019学年度奨学生採用の件、業務委託規程・覚書の件、2020学年度奨学生採用数と募集要項の件、2019年度事業計画案・収支予算案などが審議されました。継続審議となった業務委託規程・覚書の件を除いて、その他の議案は原案通り承認され、2020学年度の奨学生採用数は、前年度比10人(枠)増の860人(枠)とすることなどが決定しました。

昨年8月の理事会で「議案以外のことについても意見交換して、理事会を活性化させたい」との意見を頂いたことから、議事終了後は、「学友」としての意識付けをいかに図るか」など、40分にわたり、活発な意見交換が行われました。



帰国学友歓迎会 & 日本人奨学金 — 韓国米山学友会 —

韓国米山学友会が5月18日、毎年恒例の「帰国米山学友歓迎会」を開催しました。この会は、今年韓国へ帰国した元米山奨学生を歓迎する会で、今回は帰国・新規学友5人を含む25人が参加しました。

また、当日は、同同学友会が支援する日本人奨学生3人(梨花女子大学 通訳翻訳大学院2人、東国

大学 仏教大学院1人)も参加し、全員の前で奨学金が授与されました。この奨学金は2016

年、米山学友たちの恩返しの気持ち、そして、日韓の懸け橋となる若者を支援したいとの考えから設立され、同同学友会ではこれまでに累計11人の日本人を支援しています。



寄付金速報 — 今年度の送金はお早めに —

5月までの寄付金は前年同期と比べて3.0%減(普通寄付金:0.3%増、特別寄付金:4.5%減)、約3,910万円の減少となりました。5月単月の特別寄付金が前年度と比較して1,570万円減少したため、前年同期比の累計額も先月に比べて減少幅が大きくなっています。

2018-19年度も残り約半月です。普通寄付金上期・下期ともにまだご送金されていないクラブは、6月28日(金)までに当会の銀行口座に入金記帳されるようお送りください。引き続き、今年度も最後までご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【訃報】 名誉理事長 末永直行氏 逝去



当会名誉理事長（元理事長）の末永直行氏が、5月14日にご逝去されました。96歳でした。

末永氏は1959年に福岡西RCに入会され、1970-71年度ガバナー、1982-84年度国際ロータリー理事など、ロータリーにおいて要職を歴任されました。当会においては、1973-77年度理事、1977-87年度常務理事、1987-92年度副理事長、1992-2001年度には第

3代理事長をお務めいただくなど、実に30年近くの長きにわたり、米山記念奨学事業のために多大なご貢献をいただきました。記録に残された発言の数々は、米山奨学事業が今後アジアにおける日本の信頼を確保し、真の知日派・親日家を世界に根付かせていく期待に満ちています。ご遺志により、葬儀・告別式は近親者のみですすでに行い、後日、お別れの会が開かれるとのことです。

ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈り申し上げます。

学友会のコラボ活動 — 第2610 & 2650地区 —

第2610地区（石川・富山）と第2650地区（福井・京都・奈良・滋賀）の両米山学友会による共同イベント、「みんなの交流会」が5月25～26日、石川県羽咋市内で行われました。

この交流会は昨年に続く2回目の開催で、今年は学友・奨学生・ロータリアンら36人が参加。格闘技エクササイズやうちわ作りなど、参加者による自主企画のプログラムを中心に、交流を深めました。また翌日は、能登の海岸清掃活動を2時間かけて行い、さわやかな汗を流したとい



うことです。

第2610地区米山学友会の董又碩^{ドンウツク}会長（2012-14/能美RC）は、「われわれ第2610地区米山学友会としてはこれが初の公式な奉仕活動で、それを第2650地区との共同行事で行うこ

とができたことは、とても意義深いと感じました。米山学友が力を合わせて地域に貢献する活動ができたことが本当に嬉しく、これからも定期的に奉仕活動しよう！と意気投合しました」と、語りました。

“絆 in モンゴル” 直前情報

7月27日・28日にモンゴルの首都ウランバートルで開催される米山ファミリーの集い「絆 in モンゴル」には、おかげさまで多くの皆様から参加登録をいただきました！

ホスト国モンゴルはもとより、日本各地、台湾、韓国、中国、タイ、マレーシア、ベトナムなどからも多くの学友が参加。また、これまでに200人超のロータリアンの登録をいただき、全体では450人規模の大きな祭典となりそうです。

27日の式典・懇親会では、参加者の皆さんに

楽しんでいただこうと、モンゴル伝統の音楽・舞踊や各学友会の紹介などが予定されています。また、28日の遊牧祭も個人ではなかなかできない体験です。このほか、参加者からの要望に応じて、26日には実行委員長のジャンチブ・ガルバドラッハさんが理事長を務める「新モンゴル学園」の見学ツアーも企画中のことです。

なお、航空券やホテルをご自身で手配される場合は、登録はまだ受付可能です。ご希望の方は、mongolianyoneyama@gmail.comまで。